

2024年度後期「企画に対する学生評価」

実習企画(または演習企画)に対する学生評価

| | |
|-----------|--|
| あなた自身について | 問1 事前に配布された資料を読むなど予習をしましたか。 問2 実習(演習)に積極的に参加しましたか。 |
| 実習(演習)計画 | 問3 実習(演習)の目的は履修要項やガイダンスで理解できましたか。 問4 実習(演習)はおおむねスケジュールに沿って行われましたか。 問5 学生数に対して指導担当者数は適切でしたか。 問6 指導担当者は適切な指導能力を備えていましたか。 |
| 実習(演習)内容 | 問7 実習(演習)の内容は、関連する講義科目の内容と対応がとれていましたか。 問8 事前に配布された資料は、実習(演習)を進める上で役立ちましたか。 問9 実習(演習)によって技術を十分に習得することができましたか。 問10 実習(演習)内容の難易度は適切でしたか。 問11 課された提出物(レポートなど)の量や内容は適切でしたか。 |
| 実習(演習)環境 | 問12 実習(演習)用の設備・機材・用具などは性能に問題はありませんでしたか。 問13 実習(演習)用の設備・機材・用具などは量の面で十分でしたか。 問14 安全に対する適切な指導と配慮がなされていましたか。 問15 学生の人権に対する配慮がなされていましたか。 |
| 総合評価 | 問16 この実習(演習)は全体として満足できるものでしたか。 |

- | | |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強く思う | (非常に良い) |
| ④ やや思う | (良い) |
| ③ どちらとも言えない | (普通) |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない | (良くない) |

科目名：情報科学実習

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：95 配付数：94 回収数：91 回収率：96.8%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 2.6 | 4.3 | 3.8 | 4.3 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 3.9 | 4.2 | 4.3 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.2 | 4.1 | 3.9 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

情報科学実習担当教員

Someone has stated that the quality and quantity of the training is not appropriate. The reason for this has not been given. However, I would like to make efforts to improve these points. There was an opinion that we should not talk about things that are not directly related to the lecture. I will not talk about anything other than lectures.

科目名：基礎化学実習

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：92 回収率：96.8%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.8 | 4.5 | 4.4 | 4.6 | 4.5 | 4.5 | 4.4 | 4.5 | 4.4 | 4.4 | 4.2 | 4.6 | 4.6 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.6 | 4.6 | 4.5 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

基礎化学実習担当教員

基礎化学実習では、限られた時間の中で、白衣の正しい着用方法、安全教育（試薬の取扱い、化学物質の廃棄の仕方、事故時の対処方法など）と実験器具（洗浄ビン、ガラス器具、マイクロピペット、電子天秤や分光器などの測定装置）の取り扱いや片づけ方法を説明しています。令和6年度の基礎化学実習では昨年度と同様に分散登校で実施しました（コロナ前の1/2の定員の24名、実習も8テーマから4テーマに絞って実施）。一方、今年度からの変更点として、実習レポートの作成のための時間を確保しました（4回の自宅学習でレポート作成する）。実習では皆さんは真剣に実習に取り組んでおられました。授業評価では、実習が楽しかった、指導が丁寧だった、レポート作成時間が確保されていてよかったというコメントが例年より多く寄せられました。その一方、説明が長かった、レポートが大変だった、自宅待機の時間内にレポートを書く時間が足りなかったのでレポートの負担を軽くしてほしい等のコメントも寄せられました。皆さんの様々な意見を受け止め、来年度の基礎化学実習の改善につなげたいと考えています。一方、説明中に居眠りする方がいて心配しています。医師となる皆さんは絶対居眠りしてはいけません。肝に銘じていただきたいと思います。

科目名：心理・コミュニケーション実習

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：95 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.4 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 3.9 | 3.7 | 4.0 | 4.0 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.2 | 4.1 | 3.9 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

心理・コミュニケーション実習担当教員

本実習は医療場面でのコミュニケーションスキルを習得することを目的としており、心理学の基礎実験・心理アセスメント・カウンセリング実習、医療安全とコミュニケーションに関する講義、ユマニチュード実習、および模擬患者による医療面接実習で構成されている。今年度より学外施設実習が加わり内容が多様化した分、レポートの回数を調整して全体の課題量のバランスを取った。実習への参加度は全般的に高く、コミュニケーションスキル習得に一定の成果があったと考えている。実習の目的上、身体接触を伴うコミュニケーション技術の説明・習得が含まれており、その過程で外部講師が学生と身体接触する場面があった。実習内では、コミュニケーションの表現方法は文化によって異なりコミュニケーション以外の意図は含まれていないことが明確に説明されていたが、事前の同意が不十分であるとのコメントがあった。今後は対応を改善し実習環境にさらに配慮する。

科目名：形態学実習Ⅱ

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：102 配付数：102 回収数：101 回収率：99.0%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.6 | 4.6 | 4.6 | 4.6 | 4.2 | 4.6 | 4.6 | 4.6 | 4.5 | 4.5 | 4.6 | 4.6 | 4.6 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.6 | 4.6 | 4.7 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

形態学実習Ⅱ担当教員

全体としての満足度が平均4.7と満足できるコースとなったのではないかと考える。担当指導者数に対する評価がやや低かった。肉眼解剖実習では、教員4名により指導に当たったが、質問が集中した場合には対応が遅くなったこともあったが、やむを得ない面もあると思う。今年度はインフルエンザでの欠席が多少あったが、特に大きな問題はなかった。学生もかなり予習してきており、スムーズに実習は進行した。

科目名：生理学実習・演習

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：67 回収率：66.3%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.0 | 4.4 | 4.4 | 4.5 | 4.4 | 4.5 | 4.4 | 4.6 | 4.4 | 4.4 | 4.4 | 4.5 | 4.6 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.6 | 4.6 | 4.5 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

生理学実習・演習担当教員

生理学実習・演習に対する評価は4.5でした。一見良好に見えますが、評価した学生さんが70%に満たないことを考慮すると、3割以上の学生さんは評価に値しないという事になるのかも知れません。学生さんからは、「実習時間が長い」「資料が不十分」というネガティブなコメントも複数頂いた。しかし、このコメントがどの実習に対してのものであるか不明であるため、改善策を講じることも難しい。

科目名：医療社会学実習

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：91 配付数：90 回収数：87 回収率：96.7%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.7 | 4.5 | 4.3 | 4.5 | 4.5 | 4.3 | 4.4 | 4.2 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.5 | 4.5 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.5 | 4.5 | 4.3 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

医療社会学実習担当教員

新しいカリキュラムでは、模擬患者さんとの医療面接を実施するなど、患者とのコミュニケーションを扱う実習となりました。学生評価のスコアをみると、実習の意図や目的は適切に伝わっていると推察しています。しかし、学生評価の自由記述から、実習の進め方などに改善すべき点があることもわかりました。今年度の経験を活かして、実習をより良いものにしていきたいです。

科目名：生体観察実習

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：53 回収率：88.3%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.8 | 4.7 | 4.5 | 4.6 | 4.5 | 4.6 | 4.5 | 4.6 | 4.3 | 4.2 | 4.1 | 3.7 | 3.9 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.6 | 4.6 | 4.6 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

生体観察実習担当教員

学生の評価は高く、その点では満足している。今年度は担当教員の突然の移動により、循環調節実習の実験を行えず、データ解析のみのバーチャルな実習になった。学生各自はよく勉強をしてくれていたが実験が実施できなかったのは反省点であった。また、実習機器が経年劣化し実習実施に影響が出る可能性がでてきた。代替実習など実習のデザインの変更も視野に入れて今後の実習について考えていきたい。

科目名：基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）

（看護学科第1学年後期／必修）

履修者数：60 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.6 | 4.8 | 4.4 | 4.4 | 4.4 | 4.3 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 3.9 | 4.4 | 4.4 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.5 | 4.0 | 4.3 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）担当教員

回収率 100%でした。皆様のご協力に感謝いたします。自由記載では資料についての記載が複数ありました。担当者間で検討したいと思います。皆さんには将来、資料（処方箋や指示箋）を正確に読み、理解し、行動することが求められます。講義演習ではその能力も涵養すべく工夫しているところです。また、事前学習は演習で完璧を目指すための学習ではなく、演習でより深く学ぶための学習です。わからない点は質問していただけると学生・教員双方に有益だと思えます。